

インドのチェンナイで開催された台湾産業展示会後のレポート～

今回、インドのチェンナイで業界団体が開催した台湾産業展示会は、180社のメーカーを招集し、それほど大きくない展示ホールをほぼ埋め尽くしました。チェンナイは海に近い工業都市であり、他の国の沿岸都市と共通の道を歩んでいます。「経済発展のペースは早いです。」したがって、ムンバイでは、ニューデリーはインド経済の黄金の三角形を構成しています。TOYOTAとHONDAはここに組み立て工場を行うことを選択しました。この工場は一部のコンポーネントサプライヤーの参入にもつながりました。もちろん、これらのメーカーも私たちの旅行の主要なターゲットです。実際の展示会期間は3日ですが、来場者はそこそこです。他の展示会と同じではありませんが、半数ほどがただの観客ですが、潜在顧客も多いのです。旅行前に連絡をとったお客様の中には、予想通りブースに来てくださった方もいらっしゃると思いますが、フォローアップでどんな展開は、ハードワークと運に頼らなければなりません。

今回の旅への想い～

- 1.インドは10億人近くの人口を抱えていると言われていますが、教育が不十分なため、人口の大部分はただ飢餓状態ではないの生活しかできません。交通機関やその他のインフラ建設は比較的遅れており、しばらく時間がかかるようですが、大勢の外資企業を引き付ける必要があります。インドは共産主義国ではなく、中国の中央集権化により、飛躍的な建設と進歩が達成されると違いのため、外資企業は長い間不便に耐えなければならない可能性があります。これは、リスクを冒したい人々、特に韓国人が長期間にわたってリスクを冒したい理由にもなります。懸命な努力の結果、韓国のブランドはすでにインド人の心の中である程度の認識を持っています。台湾の製品は同じ性質であり、将来的には立派な敵になるでしょう。
- 2.この展示会には多くの種類の産業があり、前代未聞の産業もあります。大規模ではありませんが、それぞれの分野で独自の競争力があります。展示会では、さまざまな分野について率先して学ぶことができます。業界の友人であると同時に、貴重な経験をたくさん学ぶことができます。私と同年のメンバーもいますが、10年以上の展示経験と経験を積み重ねてきました。努力の歴史は、畏敬の念を起こさせ、深遠にならざるを得ません。成功は決して簡単でもまぐれでもないという認識がしました。

今回の旅には別の話があります～

展示会2日目、特別な衣装のカップルが来て、奥さんがブースに展示されている鋳物を細かく見たり触ったり、シフトホイールの鋳物を彼女に売ってく

れませんかと突然に言い出した。彼らはアーティストであり、展示品のラインを賞賛し、洗練された当社の製品は、ダイカスト製品の素人であるアーティストからも高く評価されており、少し虚栄心を感じさせてくれました。実際、1時間前に話し合っていたのですが、展示後はこれらの展示品はその場で解決するのか、それとも6,000台湾ドルを費やして台湾に持ち帰りなのか？彼らは見かけ上は本当にアーティストの雰囲気があり、すぐにすべてを与えと言いましたが、展示会が終わった後、彼らは戻ってきてその鋳物を入手しなければなりません。翌日、彼らは約束通りここに来て、すべての展示品を取り上げると同時に、私たちに菩薩の小さな肖像画を与え、商売繁盛を祝福してくれました。この時点で、私は確信できます、ある菩薩が私に送ってくれたのではないかと強く疑われました。私に福音を広め、自信を持ってほしいって～「驚かずに進んでください。」写真を家に持ち帰ったら、すぐに仏壇の前に持っていきます。比較のため、文殊菩薩か普賢菩薩のように見えるかどうか、現時点では妻は突然現れ、見るだけで肖像画は菩薩ターラーですと断言した。普賢菩薩のさまざまな容貌の一つです。世界のさまざまな生産事業の繁栄を担当します。彼女は話した後すぐに敬礼します。礼拝した後、突然、厳粛な雰囲気が漂いました～（修行を実践する人は違うようで、心境の中にすぐ理解できます。それは私たちの人間が理解することを超えています）～南無阿弥陀仏！